

# さくらプランニング

## かわら版

保存版  
発行者：庄原市中本町 2-5-6 市民交流サロラックキー内  
観光ワークショップ  
さくらプランニング  
代表者：後藤宏治  
0824-72-0075  
2005年6月1日発行

### これぞ庄原「庄原百選」決定する！

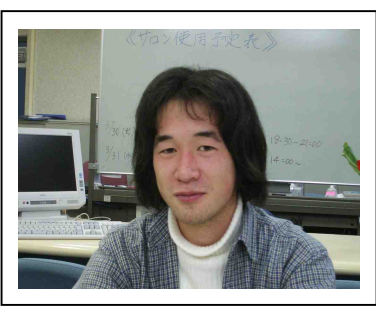
さくらプランニングとは・

私たちさくらプランニングは平成十五年に庄原のまちなかに賑わいを創出しよと募集された、市民活動活性化ワークショップの一つで、観光の面から賑わいを創出しようとメンバーが集まったワークショップです。

県立広島大学生を中心に社会人を含め、約二〇名で活動しています。

これまで、「庄原発見MAP」の発行や昨年七月には、まちなかの楽しみづくりを目的に「浴衣で楽しむ紅梅通り七夕祭」を開催したりしています。

私たちのモットーは「できることからかかってみよう！」と、自分たちのやりたい事の実現をします。「こんな事がやってみたい」というアイデアをお持ちの方、まちなかの賑わいづくりに興味のある方、是非、さくらプランニングに参加してみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。



さくらプランニング後藤宏治座長

昨年十一月から募集して決めた「庄原百選」がこの度、決定したのでお知らせいたします。

「庄原百選」とは旧庄原市内にある素晴らしい資源(場所・イベント・風物・風習・人物等)を百件集めて、大々的にPRしていくというもので、この事業は国営備北丘陵公園と連携した「庄原まちなか活性化調査」の一環として、庄原市と庄原市観光協会、まちなか会議と共催で実施しているものです。

この度、一般に公募した百選の候補は応募総数二二〇件・一六七の素材が集まりました。「庄原」と言えばこれ！「庄原に行くならここを見たい！」というものを基準にさくらプランニングが選定を行い、この度、正式に「庄原百選」が決定したというわけです。

選定作業にあたり、応募者の皆さんが記入された応募票からは庄原に対する熱い思いがひしひしと伝わるものばかりで、選定するの非常に悩みながら作業を進めました。

今後はこの百選を冊子やチラシにまとめ、庄原を訪れた人に庄原の魅力をPRするために活用していけたらいいなと考えています。

「庄原百選」  
名勝・観光地  
一「上野公園」(上野公園の夕焼け・上野公園の周回路

の夕焼け・上野公園の周回路

・ひさご山から見る風景を含む)

桜の時期もきれいですが、四季折々の風景はきれいで、約二キロの上野池の周回は散歩ウォーキングにちょうど良い。上野公園の四季の風景を見ながらの散歩はなかなかよいです。

二「国兼池」  
この地域は干ばつや水害の多い事から、一六四六年につくられ、一六七五年に増築されている巨大なため池。池には人柱となった国さん兼さんの悲しい、いい伝えが残っています。

三「国備北丘陵公園」  
平成七年にオープンした中国地方唯一の国営公園。テニスは体験・遊びで里山の農家を再現した里山屋敷や大型遊具・大芝生広場・グラウンドゴルフ場・花の広場と一年を通じて楽しめる公園です。

四「食彩館しゅうばらゆめさくら」  
春夏秋冬一年を通じて楽しむことのできる風景。眼下には小和池があり、その周りの田園風景はまさに庄原ありのままの景色ではないでしょうか。おすめめは初夏のみどりの風景と秋の稲穂です。庄原の情報発信の拠点となるゆめさくらには多くの方が訪れておられ、中でもデッキからの写真を撮られる方は数多くおられます。

五「日本ビラミッド葦原山」  
どの方向から見ても三角

の方向から見ても三角

形の形状をしており、エジプトのピラミッドよりも古くに造られたといわれています。拝殿ではないかと言われている鬼叫山にある巨石群は太古の神秘を感じます。また、この周辺ではUFOと思われる未確認飛行物体が何件も目撃されています。

六「七塚原高原」  
明治三十三年に国立の種牛牧場として創設され、現在は広島県畜産技術センターとなつています。四季折々に美しい風景があり、アマチュア写真家の必撮ポイントになつていきます。

七「かんぼの郷庄原」  
平成十三年にオープンした簡易保険総合レクセンター。天然温泉につかりながら、庄原のやまなみを眺めるのは最高です。星空を見ながらの露天風呂も良。

八「高茂温泉」  
西城川と山に囲まれた一軒宿。温泉と春は山菜料理。夏は鮎・秋はきのこ・冬はイノシシと郷土料理も楽しめます。

九「備北オートビレッジ」  
オートキャンプ場としてハイクラスの人気。ハイシーズンには予約が難しいとか。

一〇「文覚堂(高門町)」  
下半身のあらゆる病気を治してくれると言われている、日本全国から多くの人々が訪れる庄原の隠れた名所。

風景・風情  
一一「青岳山(峰田町)」  
山頂より庄原一帯が一望できます。青影城という城山で標高は五五〇mあります。景色がとて良く、山頂から眺める風景は最高です。  
一二「一木のそば畑(一木町)」  
花ひとつひとつも美しいですが、少し離れたところから眺めるのはまた格別です。一木一寸そば屋もおはさん達の笑顔と愛情たっぷり大好き。おすすめてです！  
一三「県大のイチョウ並木

(七塚原町)」  
秋になると紅葉して美しい。落ち葉も黄色いじゅつたんを敷いたようになって見事！

一四「紅梅通り(中本町)」  
古い町屋のたたずまいが良い。昨年実施された七夕祭りも浴衣の着る事ができる機会ができて良かったと思えます。

一五「七塚原のボブラ並木」  
やっぱり庄原といえばこれ、という印象深い風景。昨年の台風十八号で倒れましたが、ライオンスクラブさんの力で再び植樹されています。

一六「山内駅前イチョウの木」  
イチョウの大木が紅葉の時期になると山内駅とマツチとして、非常にきれいです。  
一七「百三小路(文芸の小路(西本町))」  
庄原市街地にある路地。倉田百三の生誕地から胸像のある場所へ抜けることができ、狭いので思わずあいたつをしてしまいます。コミュニティセンターがあふれる小路です。

一八「宝蔵寺・丑寅神社の界隈」  
宝蔵寺の境内から丑寅神社の参道を歩くと趣があります。宝蔵寺のやや西城より首のある首なし地蔵があります。話では昔、結婚式をする家に地域の若い者が地蔵さんを担いで行っていたらしい。家では地蔵さんを置いて帰られては困るので、お酒を振舞って地蔵さんを持って帰ってもらっていたらしく、その時、お地蔵さんを落として首が取れたのでは。とか、胴体と首から上の石の色が違います。

一九「夕日のきれいなポイント」  
峰田町から高門町へ抜ける市道白鳥線の丘から見える夕日。庄原のまちなか、やまなみが見え、夕日がきれいで新しい観光資源。

二〇「ホテル」  
新庄町・高南小学校ではホテルの幼虫を放流してホテルを増やす取組みを行っています。本村川水系や西城川水系でも自然のホテルが見られます。

二一「篠津原」  
静かな池のほとりに篠津原城跡、中世の館跡が数多く残っています。

二二「国備北丘陵公園の花」  
春は菜の花・チューリップ・ポピー・秋はなんと言ってもコスモスです。ライトアップされたコスモスは幻想的です。

二三「桃色街道の花桃(本村町)」  
地元の人々が自分の家に植えた花桃があまりにもきれいなので、近所の人にも広がりました。本村町の東道庄原東城線沿いは桃色街道が名乗るぐらいい花桃が植えられ、花の時期にはきれいに咲いています。

二四「庄原ライアンス教会(西本町)」  
西本町にある教会の建物。木のあたたかさが、とても良いです。地元の木を活かしたこんな建物がもっと増えると嬉しいな。

二五「旧芸備銀行建物(西本町)」  
現在は電気店の倉庫になっていますが、往時の雰囲気の色濃く残っています。

二六「日の滝(濁川町)」  
芸備通史にも載っている古くからの名勝。信仰の場。夏、汗をかきながらふもとから登り、滝の下の涼しさは最高！

二七「雪澤の滝(峰田町)」  
峰田町と総領町の境にある栗石トンネルのわきにあります。最近までは地元の人しか知らなかった。でも調べてみると芸備通史に載っています。昔は病気の人がこもるお堂があったとか。古くて新しい観光資源。

(歴史文化・民俗風習)

二八「赤糸威鑑」  
山内町日吉神社にある国の重要文化財に指定されている鑑。四〇〇年以上経っているといつのに、色あせないでいる。

二九「杏坪柿(西条柿)(高茂町)」  
江戸時代に庄原地方の代官であった頼杏坪が飢きんに備えて、柿の木を植えることを奨励し、文政二年から植え始めた柿の木は樹齢一八〇年を越えて、子だけでも三千本にもなり、現在も実を結んでいるものが残っている。

三〇「唐櫃古墳(川西町)」  
県史跡。横穴式石室を持つ前方後円墳。石室の規模は東北では最大。

三一「円通寺(本郷町)」  
本堂と本堂内にある厨子は国の重文に指定されている。本堂の天井に描かれている龍は雪舟が描いたものといわれ、言い伝えられており、あまりにも見事な龍なので魂が入って、毎夜近くのため池に水を飲みに行っているといわれています。

三二「甲山城跡(本郷町)」  
備後屈指の国人山内氏の本拠地。県の史跡に指定されている。城山の頂上は見晴らしがよく、甲山城跡へ向かう道に見る秋の風景はとて美しく思わず深呼吸したくなります。

三三「化石」  
市内の掛田町・門田町でクジラや真珠貝の化石が出土しました。庄原は現在では中国山地の山の中ですが、当時は海の底だったらしい。あとひとつ何かあれば、庄原地方が亜熱帯の地域という証拠になるらしい。

三四「庄原英学校」  
庄原英学校は明治一七年に現在の市民会館の場所に開校しました。明治維新から間もないこの時期に地方に英学校を建てた先人達に脱帽。

三五「日吉神社の敬老図(山内町)」  
一八二二年に日吉神社において代官頼杏坪が開催した敬老会の様子を描いた絵。明治時代の教科書にものっていた有名な図。

三六「円福寺の仁王像・観音様(実留町)」  
山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

三七「国兼導水」  
本村町から国兼池までひかれた用水。サイホン式で水を上げる場所もある。ガイドを聞きながら取水地から歩いてみるのも面白いかも。

三八「諏訪神社(高門町)」  
シラカシの純林とコケの群落がある。田んぼの中にこんもりとした神社の森があつて、トトロの住んでいる森のようです。県天然記念物。

裏面へつづく

さくらプランニング  
スタッフ募集中!!  
こんな事がやってみたい!!  
あんな事がやってみたい!!  
やる気とアイデアのある方  
お待ちしております!!